

2020年4月1日

2021年度ハンドボール競技規則改訂における「ボール規程」変更に関して（第二報）

指導普及本部長 三輪 一 義
競技本部長 高野 修
審判本部長 福島 亮 一

国際ハンドボール連盟（以下 IHF）は、2019/8/2 に新たな IHF Ball Regulation を発表しました。（添付資料 1 参照）。それによると、

<Handballs played with resin>、<Handballs played without resin>、<Handballs for beginners> という 3 つの種類ボールを規定するものです。今まで通りに松ヤニの使用を前提にした規程に加え、松ヤニの不使用を前提にサイズ・重量を小さくした規程と、これまでなかったビギナーズ向けのサイズ・重量（0 号球・00 号球）を明文化したものが発表されました。

この発表に先駆ける形で、日本ハンドボール協会小学生専門委員会では、小学生用ボールのサイズ・重量が IHF 規程と異なることに対して、2015 年より議論を重ねてきた経緯があります。一方、日本の育成年代におけるボールサイズに関する議論は、全国 JOC 大会において男子 3 号球が採用された 2013 年より本格的になり、中学生専門委員会において組織的な議論が繰り返されてきました。両委員会ともに、全国大会等でアンケート調査を繰り返し、現場の意向を掴みながら、小中学生における適正なフォーム並びに技術獲得にはどのようなボールが望ましいかを探ってきた歴史があります。

2019 年 8 月に IHF が新たな Ball Regulation を発表したことを受け、2019/12/22 の中学生専門委員会と 2020/1/18 の小学生専門委員会、ならびに 2020/2/1 の競技審判合同委員会の合意を経て、2020/2/15 の第三回理事会において、以下の 3 点について決定をしました。

①【小・中学生女子のボールサイズ変更】

日本における中学生女子ボールサイズを 1 号球に、小学生女子ボールサイズを 0 号球に変更する。

②【新しいボール規程の採用】

育成年代にあたる小・中学生においては、ボールサイズ・重量について IHF が新たに規定した <Handballs played without resin> に則ったボールを認定球とする。

③【適用の実施時期】

上記規程の適用は、2021 年 4 月以降とするが、現場への予告は 2020 年 4 月とする。

適用の実施時期は、2021 年 4 月以降としておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の世界的状況を踏まえると、現時点では、ボールの開発・生産・流通への影響、日本協会検定球としての認証、新しいボールの購入可能時期、そのボールでの練習期間等について、改めて各方面と検討しなければなりません。全国大会での公式球として、何年度のどの大会から「ボール規程」の適用をするかについては、2020 年 8 月 1 日に改めて<第三報>を発表する予定です。